

## 1. ロザリオとは何か？

定義 \*1\*2\*3

ラテン語で *rosarium* 「バラの冠」の意であり、英語の *rose* 「バラ」という言葉のもとになった。英語の *rosary* 「ロザリオ」は、辞書では「他宗教でも祈祷に用いられるもの」とも定義される。

ひもに通した玉やひもを結んで珠状にする形式など、さまざまな形のものがある。例えば、仏教では数珠を用いるがいずれも手で祈りの数を数えるための道具である。従って手で持つ使い方が正しい使用方法である。

## 2. ロザリオの祈りとは、どのような祈りか？

### (1) 意味と目的\*2\*3

「聖母のバラの花園」の意味である。聖母マリアへ捧げる祈りの霊的花束として、祈りによってバラの花束を捧げることを目的とする。ロザリオを使って「アヴェ・マリアの祈り（天使祝詞）」を繰り返し数えながら、福音書の中に記されているイエズスの生涯の出来事を黙想していく。

黙想するイエズスの生涯の出来事とは、幼児期（喜び）・ご受難（苦しみ）・イエズスと聖母マリアの栄光（栄え）・洗礼・変容（光）の4つの神秘である。なお、光の神秘は、2002年10月にヨハネ・パウロ2世によって追加された。

ロザリオには様々な祈りがあったが、珠を繰り返しながら唱える祈りがバラの花輪を編むようなかたちになることから、「ロザリオの祈り」と呼ばれるようになった。かつては、ラテン語で「主の祈り」の冒頭に出てくる「私たちの父」を意味する「パーテル・ノステル」や「聖母の詩編」と呼ばれたこともある。祈りの言葉は、「使徒信条」・「主の祈り」・「アヴェ・マリアの祈り」・「栄唱」から構成されている。具体的には、五つの出来事の黙想・五回の「主の祈り」・五十回の「アヴェ・マリアの祈り」・五回の「栄唱」を唱える行動である。従って祈り方に規則はない。長い伝統に裏打ちされた祈りであることから明らかなように、言葉の一つ一つを意識しながら祈る祈りである。祈りの「回数」や「数」によって質が決まるものではない【マタイ6章7節】。

### (2) 歴史\*2\*3\*4\*5

聖パウロは絶えず祈ることを説いている【テサロニケの信徒への手紙一5章17節】。また、初期のキリスト者たちは絶えず祈ることを真剣に考えていた。しかし24時間祈り続けることは事実上不可能である。そこで、その具体的な解決策として生まれてきた方法が「聖務日課」つまり今日の「教会の

祈り」である。「聖務日課」（教会の祈り）の中心は、150 編からなる詩編を皆でともに唱えるものであり、主に修道者たちの間で行われていた。決められた時間に唱えることが重要とされてきたことから、「時課の祈り」とも呼ばれている。

「ロザリオの祈り」は、ミサとは異なる私的な信心業である。現代に比べ識字率が低かった古代から中世にかけて、信者たちが「聖務日課」のような祈りを行うことができないかと考え、工夫を重ねた。その過程で祈りが洗練され、詩編 150 編の代わりに「アヴェ・マリアの祈り」を 150 回唱えるという初期の形へと次第に変化した。さらに現代に入ると、生活リズム・習慣の変化に伴い、「アヴェ・マリアの祈り」の回数が 150 回から 50 回へと短く変化した。

「ロザリオの祈り」が普及するようになった起源は 1200 年頃にさかのぼる。聖ドミニコが、異端のカタリ派が勢力を占める南フランス地方で福音宣教を行う際に、聖母の出現によってロザリオを使って祈るように啓示を受けたとされる。聖ドミニコが設立したドミニコ会のロザリオが普及した背景には、「アヴェ・マリアの祈り」に黙想を加えるようになったことがある。

「ロザリオの聖母マリア」の祝日は 10 月 7 日である。これは、教皇のもとに結束したスペイン中心の同盟国が、1571 年のレパント沖海戦でヨーロッパを支配下に置こうとするトルコ帝国に勝利を収めた日に由来する。

この勝利は、武力ではなく「ロザリオの祈り」を聖母マリアに捧げたことによるとされたため、時の教皇、聖ピオ 5 世（在位 1566 年-1572）が祝日に定めたものである。

近年においては、「ロザリオの祈り」が、ヒトに与える影響について科学的研究が行われ、知見が蓄積されている。<sup>\*9\*10\*11</sup>

### （3）日本とロザリオ<sup>\*4 \*5 \*7</sup>

我が国においては、16 世紀のキリスト教伝来に伴いイエズス会士によってロザリオが伝えられた。

キリシタン時代、ロザリオはポルトガル語の *contas* 「コンタツ」と呼ばれていた。「数える」という意味である。

キリスト教伝来以降、我が国におけるキリスト教信仰は、時の為政者による厳しい弾圧と排斥を経験し、現在に至っている。具体的には、豊臣秀吉・江戸幕府・明治政府による禁教令下及び太平洋戦争中の特別高等警察による思想弾圧や度重なる弾圧下においても、ロザリオは聖母マリアへの敬愛を示すものとして大切にされてきた。その史実は、今日でも各地に残っている史料から読み解くことができるであろう。

<引用文献・参考資料>

- 1 英辞郎 on the Web <http://eow.alc.co.jp/>
- 2 『ロザリオの祈り』 聖書・観想・意向  
(キリストバル・M・バリョヌエボ 著／サン・パウロ／2015年)
- 3 『目からウロコ ロザリオの祈り 再入門』  
(来住英俊 著／女子パウロ会／2002年)
- 4 日本の宗教と戦争 1899-1945  
小川原 正道 著 2014年

<参考ホームページ：2022年12月2日閲覧、論文タイトルは筆者和訳>

- 5 女子パウロ会ホームページ  
<http://www.pauline.or.jp/prayingtime/rosario01.php>
- 6 聖イグナチオ教会 信仰入門講座 (Sr 杉原) ホームページ  
<https://gratia-plena.org/prayer/>
- 7 カトリック中央評議会ホームページ  
<https://www.cbcj.catholic.jp/>
- 8 仙台市博物館ホームページ  
<https://www.city.sendai.jp/museum/shuzohin/shuzohin/shuzohin-29.html>
- 9 ロザリオの祈りの体験と効果 Stöckigt, B., Jeserich, F., Walach, H., Elies, M., Brinkhaus, B., & Teut, M. (2021). *Experiences and Perceived Effects of Rosary Praying: A Qualitative Study. Journal of religion and health, 60(6), 3886-3906.* <https://doi.org/10.1007/s10943-021-01299-2>
- 10 高齢者の日常生活におけるレジリエンス戦略としての宗教性・霊性。  
Reis, L. A. D., & Menezes, T. M. O. (2017). *Religiosity and spirituality as resilience strategies among long-living older adults in their daily lives. Revista brasileira de enfermagem, 70(4), 761-766.* <https://doi.org/10.1590/0034-7167-2016-0630>
- 11 比較研究；ロザリオの祈りとヨガのマントラが自律神経循環リズムに与える影響 Bernardi, L., Sleight, P., Bandinelli, G., Cencetti, S., Fattorini, L., Wdowczyc-Szulc, J., & Lagi, A. (2001). *Effect of rosary prayer and yoga mantras on autonomic cardiovascular rhythms: comparative study. BMJ (Clinical research ed.), 323(7327), 1446-1449.* <https://doi.org/10.1136/bmj.323.7327.1446>